

1

日本一の花の生産地から
日本一花を贈るまちに！

Flower City

田原市は日本一の農業の産地

であるとともに、日本一の花の産地です。平成18年の生産農業所得統計では、田原市の農業産出額は724億4千万円と全国1位で、そのうち、花きの農業産出額は354億1千万円と約半分を花きが占めています。中でも、キク・バラ・アルストロメリア・観葉植物は全国1位の産出額を誇っています。そのほかにも、リシアンサス（トルコギキョウ）やガーベラなど、トップクラスの産出額を誇る花きがたくさん生産されています。

この田原市の花を広くPRしようと、農業振興の取り組みを示した「たはら21新農業プラン」に基づき『**日本一の花の生産地から、日本一花を贈るまちに！**』をスローガンに、花を贈る習慣の定着を目指し、さまざまな取り組みを進めていきます。

愛知県においても今年度、花への関心を高め需要拡大を図ることを目的に「花いっぱい県民運動」を展開し

ています。

今後は、市内で生産されている多種多様な花を、まずは市民の皆さんに知ってもらうため『**今月の渥美半島の花**』として、公共施設などに展示していきます。また、広報たはらでも毎月15日号でお知らせします。

皆さんも、大切な人へ感謝や愛情を込めて渥美半島の花を贈ってみませんか。

●今月の渥美半島の花(平成25年度予定)

4月	カーネーション	10月	バラ
5月	アジサイ	11月	白輪ギク
6月	ハイビスカス、アルストロメリア	12月	シクラメン
7月	アンズリウム	1月	リシアンサス(トルコギキョウ)
8月	スプレーギク	2月	ベゴニア
9月	グロリオサ	3月	ガーベラ

▼農政課 ☎23局3517

今月の渥美半島の花～ハイビスカス・アルストロメリア～

ハイビスカス(鉢花／出荷時期:4～6月)

【花言葉】…常に新しい美

ハワイや東南アジア原産の花でレイ(首飾り)や髪飾りでもおなじみです。原色で一重咲きのものが中心ですが、小ぶりの花をつけるものや八重咲きのものなどさまざまな種類があります。

プレゼントするなら鉢がオススメ。日当たりのよい場所に置くと、次々とつぼみをつけて夏の間咲き続けます。

田原市は県内1位の生産額を誇っています。



アルストロメリア(切花／出荷時期:10～6月)

【花言葉】…エキゾチック、援助、持続

南米チリ原産の花で「インカのユリ」とも呼ばれています。

花の名前はスウェーデンの植物学者アルストレーメル氏に由来しています。

花保ちがよく色彩が豊富で豪華なことから、フラワーアレンジメントによく使われます。田原市では約70品種ほど生産されています。

